



ROCK PAINT

高日射反射率(遮熱)塗料用 下塗材

シャネツロック シーラー・プライマー

■シャネツロックシーラー

高日射反射率(遮熱)塗料用 弱溶剤二液型エポキシシーラー

- 容量：15kgセット
 - 115-2320 シャネツロックシーラー (主剤) 12.5kg
 - 115-2920 シャネツロックシーラー 硬化剤 2.5kg
- 配合：(主剤) 5 : 1 硬化剤
- 色相：ホワイト
- 可使用時間：7時間(23℃)、4時間(30℃)

■特長

- シャネツロックルーフSi及びシャネツロック外壁用の遮熱性能を最大限に発揮させ、塗膜表面の温度上昇を抑制します。
- 素材の劣化要因の1つである温度差による素材収縮等が軽減でき、素材の保護能力が向上します。
- 特殊なエポキシ樹脂を採用しており、各種素材によく浸透します。
- ぜい弱素材の表面を補強するとともに、すぐれた付着性を発揮します。

■被塗物素材

- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングなど
- コンクリート系屋根、屋根材(セメント、スレート瓦)、住宅用化粧スレート(新屋根材)など
- ②アクリル板、軟質塩ビ、陶器瓦、乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)、アスファルトシングル材には適しません。

■標準塗装仕様

■コンクリート、モルタル面、窯業系サイディングボード等塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレシンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックシーラー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=5:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0~10 エアレス：0~10	1	0.10~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロック外壁用 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

■コンクリート系屋根、住宅用化粧スレート(新屋根材)などの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	高圧洗浄によりゴミ、汚れ、カビ、こけ、藻などを完全に除去する。高圧洗浄ができない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、金属ワイヤーブラシなどを用いて入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックシーラー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=5:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0~10 エアレス：0~10	1	0.10~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロックルーフSi 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

注) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。上塗りとの付着性が低下します。塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。

■シャネツロックプライマー

高日射反射率(遮熱)塗料用 弱溶剤二液型エポキシプライマー

- 容量：16kgセット
 - 115-2520 シャネツロックプライマー (主剤) 14.4kg
 - 115-2020 シャネツロックプライマー 硬化剤 1.6kg
- 配合：(主剤) 9 : 1 硬化剤
- 色相：ホワイト
- 可使用時間：5時間(23℃)、3時間(30℃)

■特長

- シャネツロックルーフSi及びシャネツロック外壁用の遮熱性能を最大限に発揮させ、塗膜表面の温度上昇を抑制します。
- 素材の劣化要因の1つである温度差による素材収縮等が軽減でき、素材の保護性能能力が向上します。
- 浸透性にすぐれた特殊エポキシ樹脂の採用で、すぐれた付着性を発揮します。
- 特殊防錆顔料を採用した環境対応型のサビ止め塗料で、高防食性を有します。

■被塗物素材

- 金属サイディング、金属パネルなどの各種金属面
- 金属系屋根(トタン屋根、鋼製屋根材)など

■標準塗装仕様

■金属サイディング、金属パネルなど各種金属面の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄面とする。				
下塗り	シャネツロックプライマー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0~5 エアレス：5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロック外壁用 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内

■トタン屋根などの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤錆を念入りに除去する。また、旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分等は、ケレン具を用いて完全に除去する。高圧洗浄等でよく清浄を行い、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	シャネツロックプライマー 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：0~5 エアレス：5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	シャネツロックルーフSi 配合比(重量) 主剤：硬化剤=9:1	塗料用シンナー ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

■施工上の注意事項(シャネツロックシーラー・シャネツロックプライマー)

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上のでの塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- 硬化剤はアミンフリー性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー-S」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマー-S」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアークアを下塗りに使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サ

- ビの発生の原因となります。
- 硬くてまだつやのある塗膜や吸い込みのない面に塗装する際は、あらかじめサンドペーパーで面を荒らしてください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりますので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が得られない場合がありますので、サビ止め塗料は先に拾い塗りすることを推奨します。
- 亜鉛メッキ鋼板の目付量が多い場合には3~4か月屋外放置しペーパー掛け後塗装してください。
- 素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、素地が直射日光などで極端に熱くなっている時は塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象が起こる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 塗装時は、高い所から降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフを使用してください。
- 無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエポを塗装してください。
- セメント系瓦の場合、塗装後に水切り部で瓦の重なり合った部分に塗料が付着していると漏水の原因となります。必ず皮スキなどを使用し塗料の除去、縁切りを行ってください。
- 改修塗装で弱溶剤系のシーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、剥離などが発生することがありますので、試し塗りをしたうえで本塗装を行ってください。
- 陶器瓦、アスファルトシングル材、乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)には適していません。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

■安全衛生上および取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 大量または継続的な暴露により健康障害を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 感受性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。
- 〔救急処置〕
- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。
- 〔施工後の安全性について〕
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗らたてであるなど立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

〔取扱い注意事項〕

- 取扱いは引火源のないところでを行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分に換気をしてください。
- 溶剤蒸気やスプレーストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 渡正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店